

# 人徳丸 延縄向け『ロングライフクッションゴム』

## 【使用目的／特長】

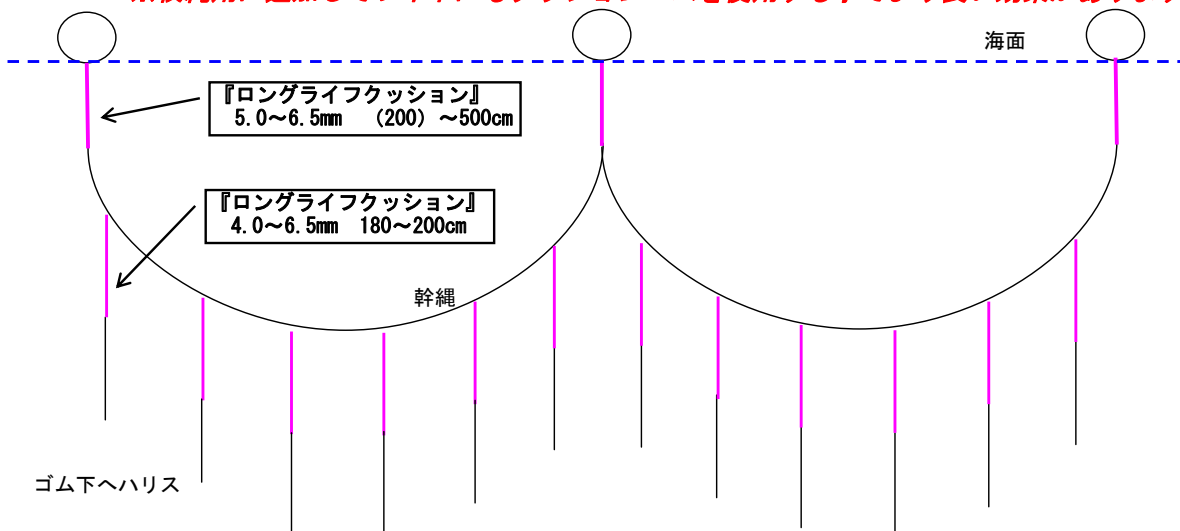
- ①PAT取得素材【(株)人徳丸】を使用する事により、クッションゴムの腰抜けを解消
- ②ロングライフクッションを使用する事により、ゴムの弾力を生かしハリスを細くする事が可能  
＜ハリスを細く出来る利点＞
  - ・魚が掛かる可能性が大幅UP
  - ・細ハリスには大きな魚が掛かる可能性が大幅UP
- ③開発コンセプト
  1. どんな魚も基本習性は同じである
  2. 大きな魚程細いハリスにかかり易い  
→鯛釣り、岸壁のメジナ釣り等、太いハリスで釣りをした場合、大きな魚はUターンしてしまう。細いハリスにした場合は大きな魚も躊躇なく食って来る
  3. 漁獲が下がって来ている今、ハリスを細くして魚を数多くかける事が必須
  4. 細いハリスでいかに魚を釣り上げるかを開発コンセプトとしている
  5. ゴムの弾力により、今までより掛かった魚が生きたまま船に上がる確率が高くなる

## 【規格】

- ①ゴム長さは約2.5～3倍の伸縮力を保持
- ②目的に合わせてゴムの長さ・太さの選択が可能
  - ・太さ4.0mm～6.5mm
  - ・長さ1.0m～5.0m（更に特注仕様の作成が可能）
- ③(株)人徳丸の出荷前に全品検査を実施
- ④PAT取得素材・製造方の使用により1年間の長寿命を達成※1  
※1：100kg以上の魚を釣り上げた場合はゴムの交換を推奨しております。
- ⑤ツボ部にはチューブ補強を施す事（PAT）でクッションゴムの強度を大幅UP
- ⑥使用目安ハリス（枝縄用）
  - 1.8m／4.0mm使用時：フロロカーボン80号まで
  - 1.8m／5.0mm使用時：フロロカーボン90～120号まで
  - 1.8m／6.0mm使用時：フロロカーボン120～135号まで
  - 1.8m／6.5mm使用時：フロロカーボン135～150号まで※フロロカーボンの使用号数は弊社参考値であり、保障値ではありません。

## 【使用方法（使用例）】

- ①ブイ下は釣獲率が高い事（弊社調べ）に注目し～5mのクッションゴムを使用する事でハリス切れの確率を低減
  - ②枝縄に使用する事で掛かった魚の個々の釣獲率を大幅UP
- ※導入順序は枝縄を先に使用する事を推奨しております**  
**※枝縄用に追加してブイ下にもクッションゴムを使用する事でより良い効果があります**



## 【使用上の注意】

- ①船上の保管は出来るだけ清潔に保ち、風通しの良いところで保管してください
- ②使用後は真水で流水洗浄を施してください
- ③傷がついたものは交換してください（テグスと同等）
- ④プラン巻機を使用する場合は、ゴムを丸めて爪の内側に入れてから枝縄を巻き始めてください
- ⑤巻き上げ時にはゴムの真後ろに人間が立たない様に注意してください  
※傷がついたのも／強度以上の魚が掛かっている場合、ゴムが切れる場合があります

# 開発コンセプト 補足説明

※下記はイメージです。

対象魚：バチマグロ（50～150kg）

※クッションゴムは枝縄に使用

	クッションゴム	ハリス	漁獲量	大きさ	コスト
船A	使用しない	120号	少ない	小さい	ハリスのみ
船B	ゴム使用（5φ1.8m）	90号	多い	大きい	ハリス+ゴム

## 【船A】

船Aではハリスが太い為に・・・小さい魚+数も少ない。但しハリスは切れ難い  
→5匹掛ければ5匹釣り上げる事が可能

## 【船B】

船Bではハリスが細い為に・・・大きな魚+数も多い。大きな魚が食い易いのでハリス+ゴムは切れる事がある  
→15匹掛かり2匹ハリス切れ/ゴム切れ→13匹は船上に上げることが出来た！

結果として船の上にマグロを数多く釣り上げる事が漁獲量=売上UPとなる！！

船Bは僅かな道具代のみで船Aの2倍以上の漁獲高を上げることが可能。+釣り上げる魚が大きい為に単価も高い！！  
道具代<通常より多く釣り上げた魚の売上 により投資した道具代の回収は可能！

## <人徳丸協カマグロ船（近海19t）データより>

1. ロングライフクッションゴム使用前後では1年間あたりの1匹あたりの大きさが15kgUP  
クッションゴム未使用船に比べ漁獲量・1匹あたりの重量UP！
2. ハリス80号/90号/100号と順番に並べた縄を打った場合、80号以外にはほとんど魚が食っていない。

**★上記の結果から、マグロはハリスの細さを選別する能力を持っていることが判明**

★90号のみ/100号のみの場合でも魚は食うが、80号と比べた場合は比較にならないくらい魚のかかる確率が低くなる

## 延縄向け「ロングライフクッションゴム」定価一覧

品名	規格					定価
	強度	長さ	ツボ1	ツボ2	数量	
ロングライフクッション 4.0mm 補強チューブ付き	68kg 前後	1.0m	約20mm	約20mm	1本	¥1,700
		1.8m	約20mm	約20mm	1本	¥1,750
		2.0m	約20mm	約20mm	1本	¥1,850
		3.0m	約20mm	約20mm	1本	¥2,450
		4.0m	約20mm	約20mm	1本	¥3,050
		5.0m	約20mm	約20mm	1本	¥3,650
ロングライフクッション 5.0mm 補強チューブ付き	91kg 前後	1.0m	約20mm	約20mm	1本	¥1,800
		1.8m	約20mm	約20mm	1本	¥2,000
		2.0m	約20mm	約20mm	1本	¥2,200
		3.0m	約20mm	約20mm	1本	¥2,860
		4.0m	約20mm	約20mm	1本	¥3,520
		5.0m	約20mm	約20mm	1本	¥4,200
ロングライフクッション 6.0mm 補強チューブ付き	129kg 前後	1.0m	約20mm	約20mm	1本	¥2,000
		1.8m	約20mm	約20mm	1本	¥2,400
		2.0m	約20mm	約20mm	1本	¥2,600
		3.0m	約20mm	約20mm	1本	¥3,310
		4.0m	約20mm	約20mm	1本	¥4,020
		5.0m	約20mm	約20mm	1本	¥4,750
ロングライフクッション 6.5mm 補強チューブ付き	136kg 前後	1.0m	約20mm	約20mm	1本	¥2,250
		1.8m	約20mm	約20mm	1本	¥2,650
		2.0m	約20mm	約20mm	1本	¥2,900
		3.0m	約20mm	約20mm	1本	¥3,700
		4.0m	約20mm	約20mm	1本	¥4,500
		5.0m	約20mm	約20mm	1本	¥5,300

※強度は保障値ではありません。

測定条件：キズ無きこと/常温測定（20°室内）/長さ：20cm 結束部破断までの測定。

※一般的に黒鮪の最大スピードは約80km/hと言われております。枝用にて5.0mmの使用で250kg程度実績があります。

※糸（テグス）は結束強力にて強度表示がされていない場合があります。クッションゴムとのバランスは弊社までお問合せ下さい。

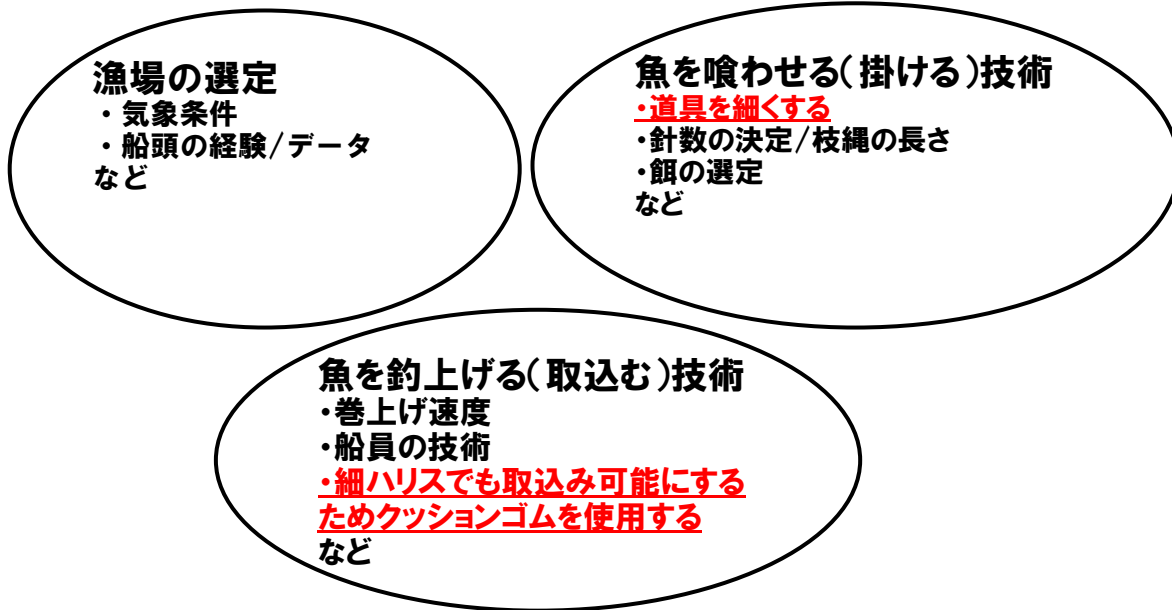
※上記価格は、両ツボ仕様（弊社標準ツボ）の場合の価格です。

※ランチ・サルカンは付属されていません。

※ランチ・サルカンの取り付け/ツボ径の変更等、特殊仕様は別途価格の上乗せが必要となります。

※上記価格には消費税が含まれておりません。別途申し受け致します。

# 漁師（船頭）が魚を釣上げる為の3大要素



人徳丸では『魚を喰わせる技術』『魚を釣上げる技術』に着目！

↓  
マグロ延縄の道具には改良の余地がある。

↓  
漁獲が落ち込む今、如何に他の船より優れた漁獲を揚げるか！

↓  
人徳丸では数々の実釣試験データをもとに延縄船向けのクッションゴムを開発！

## □従来のクッションゴム

- ・太いわりには強度が弱い。
- ・魚が喰うとゴムが腰抜け（伸びきって）してしまい、繰返し使えない。
- ・寿命が短い。（太陽光／塩水等への対応）

↓  
※数々の延縄船が使用したが、投資コストと漁獲のバランス採れず。

## □人徳丸のロングライフクッションゴム

- ・従来のクッションゴムより細くても強度がある。
- ・特許取得製造方法によりゴムの腰抜けを解消！
- ・日本国内製であり、全品検査の信頼性！
- ・繰返し使用が可能になり、約1年～1.5年の長い寿命を確立！
- ・海中バクテリア対策（クッションを劣化させるバクテリアの対策を実施）  
→今まで誰も着目していない部分

※100kg以上のマグロを釣上げた場合は交換を推奨しております。

※耐久年数は使用方法によります。

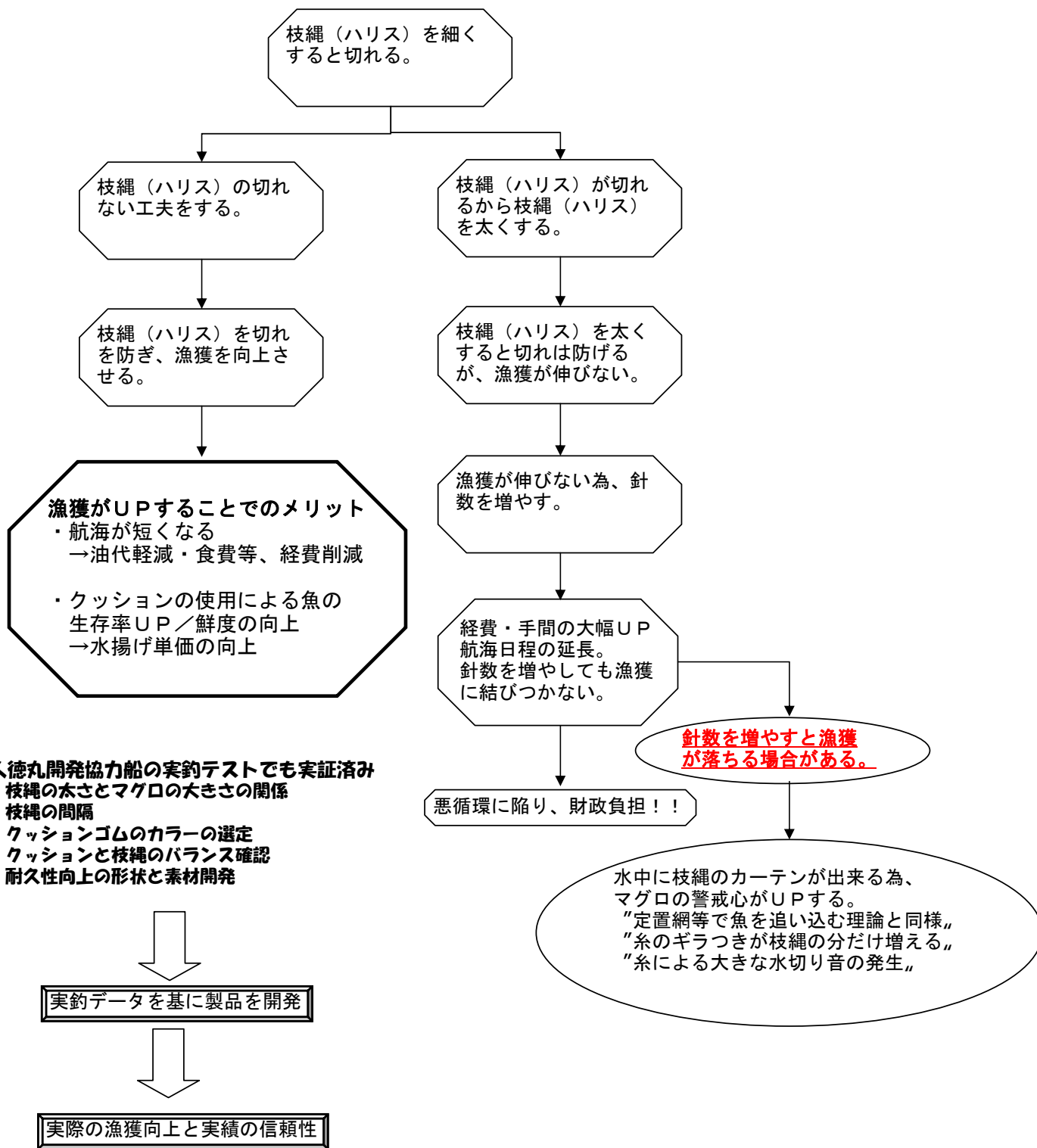
→細い道具使用する事は漁獲向上の最高の条件です。



株式会社 人徳丸  
JINTOKUMARU

# マグロ延縄船用クッションゴム

枝縄（ハリス）を細く出来れば魚の釣れる確率は大幅向上！  
→漁師なら誰もが知っている事実



人徳丸開発協力船の実釣テストでも実証済み  
枝縄の太さとマグロの大きさの関係  
枝縄の間隔  
クッションゴムのカラーの選定  
クッションと枝縄のバランス確認  
耐久性向上の形状と素材開発

実釣データを基に製品を開発

実際の漁獲向上と実績の信頼性

## クッションゴムが切れたり枝縄が切れた場合

決して枝縄を太くしてはいけません

巻上げ速度をゆるめる。  
クッションゴムを長くする。  
船員のクッション取扱いの慣れ。

釣上げるプロセスを改善していく事が重要！！

## <重要ポイント>

クッションゴム・枝縄が切れると言うことは・・・  
細い道具には大物が掛かっている一番の証拠となります。

→クッション、枝縄が切れたからといって、  
枝縄を太くしても細い道具に喰っていた魚が喰う確率は低い！  
→枝縄が細いから大きな魚が喰ったということ！！



株式会社 人徳丸  
JINTOKUMARU